

サービス

●開館

区分	授業期		休業期	
	月～金	土・日	月～金	土・日
本館	8:30～22:00	10:00～17:00	9:00～17:00	休館
医学部分館	9:00～22:00	10:00～17:00	9:00～17:00	10:00～17:00

●入館者数・貸出

(令和4年度)

区分		本館	医学部分館	
開館日数	総数	302日	330日	
	土・日開館	64日	92日	
利用対象者数	総数	9,879人		
	(学外者)	(216人)		
入館者数	総数	平日	205,964人	29,999人
		9:00～17:00	156,548人	19,805人
		17:00～22:00	34,783人	7,268人
		土・日	14,633人	2,926人
	(学外者)	(3,070人)	(165人)	
館外貸出	貸出冊数	総数	42,986冊	7,194冊
		(学外者)	(1,209冊)	(24冊)
	貸出者数	総数	24,972人	4,610人
		(学外者)	(506人)	(29人)

は内数

●参考業務・文献複写・相互貸借

(令和4年度)

区分		本館	医学部分館	
参考業務	文献調査	652件	1,272件	
	事項調査	109件	277件	
	利用指導	326件	646件	
	その他 (CD-ROM 検索含む)	4件	1件	
文献複写	受付	学内	124件	50件
		学外	773件	1,208件
	依頼	1,086件	430件	
相互利用	図書の貸出	488件	24件	
	図書の借受	348件	14件	



加藤謙一記念碑「なかよし」

- 弘前大学ホームページ <https://www.hirosaki-u.ac.jp/>
- 弘前大学附属図書館ホームページ <https://ul.hirosaki-u.ac.jp/>
開館時間や利用案内、問い合わせ先等をお知らせしています。
- 弘前大学附属図書館蔵書検索 (OPAC) <https://opc.ul.hirosaki-u.ac.jp/opc/>
弘前大学にどのような図書や雑誌があるか、検索できます。
◇附属図書館のホームページからもリンクがはられています。
- 弘前大学学術情報リポジトリ <https://hirosaki.repo.nii.ac.jp/>
弘前大学の電子的形態の教育・研究成果を無料で閲覧できます。

国立大学法人

弘前大学附属図書館 概要 2023

学生のための教育・研究支援を目指す

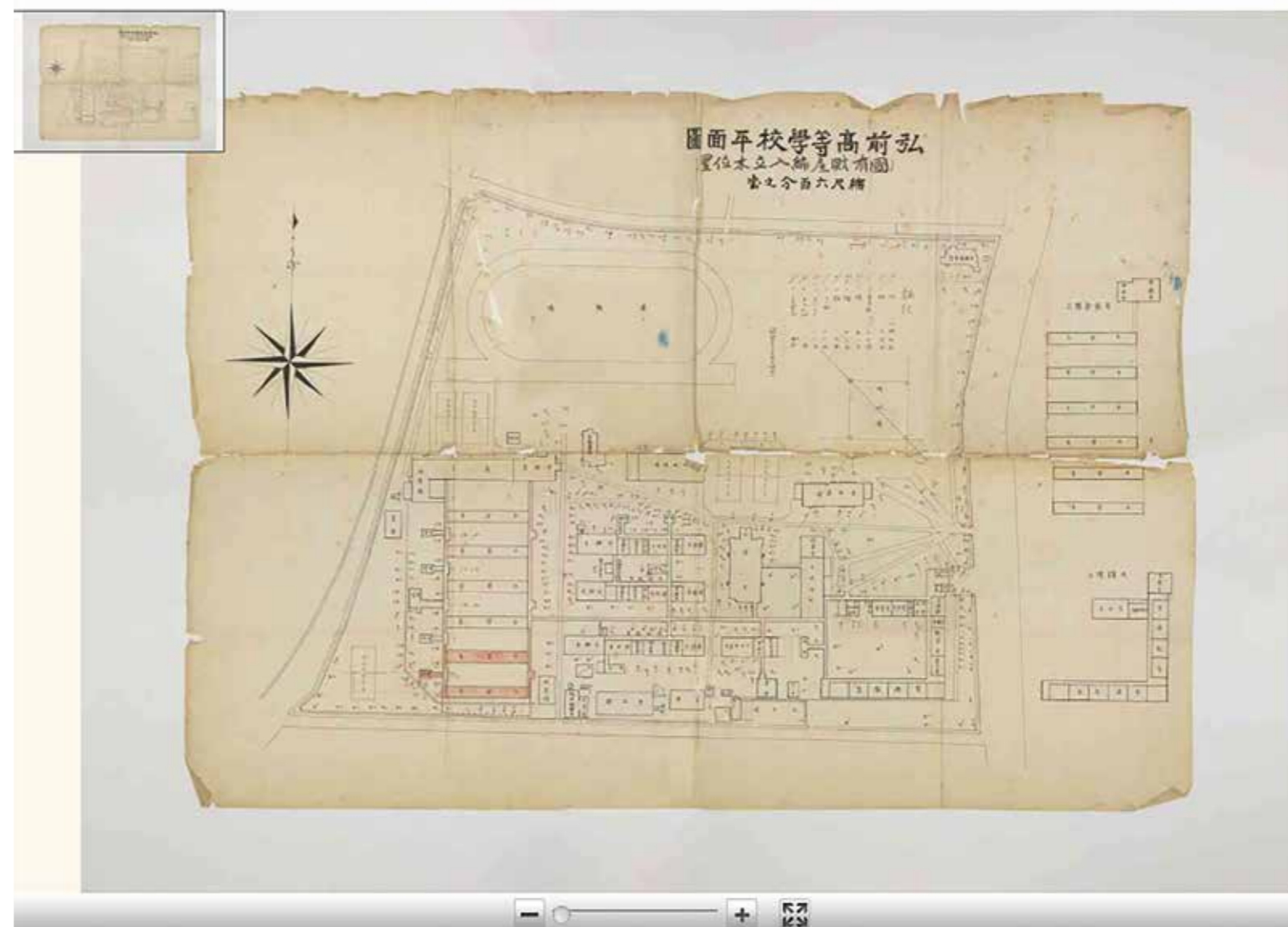
弘前大学附属図書館デジタルアーカイブより



官立弘前高等学校平面図

×閉じる

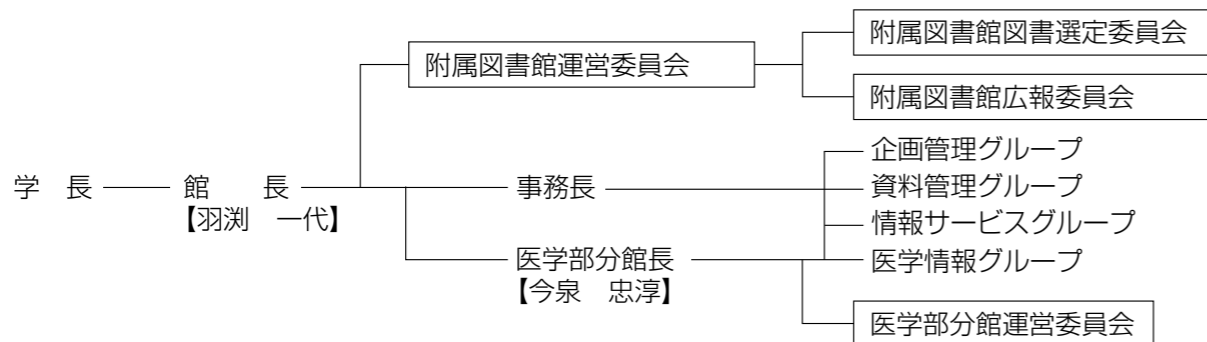
ここでは弘前大学附属図書館貴重資料「官立弘前高等学校平面図」のデジタル版を掲載しています。高解像度画像を拡大表示し、細部までご覧いただけます。



沿革

	平成8年～平成20年	平成21年～平成26年	平成27年～	
組織	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館協議会設置【昭24】廃止【平16】 ●附属図書館図書選定委員会設置【昭45】 ●本館事務部制(2課5係)【昭59】 ●附属図書館報編集委員会設置【平5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館広報委員会設置【平12】 ●附属図書館運営委員会設置【平16】(附属図書館協議会廃止) ●学術情報部学術情報課(3係、情報サービス課(2係)に改組【平16】) ●学術情報部学術情報課(1課4グループ)に改組【平17】 	<ul style="list-style-type: none"> ●保健学科分室を医学部分館と統合により閉室【平21.5】 ●研究推進部学術情報課に名称変更【平25.4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館事務部制(事務長5グループ)【平28.4】 ●附属図書館事務部制(事務長4グループ)に改組【平31.4】 ●附属図書館事務部に参事役(附属図書館担当)を配置【令2.4】 ●参事役を廃止【令5.3】
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館設置【昭24】 ●医学部分館建設【昭27】532㎡、【昭43】1,286㎡ ●農学部分館を設置【昭30】本館に統合【昭45】 ●本館建設【昭45】3,462㎡増設【昭59】延面積6,064㎡ ●医療技術短期大学部分室を設置【昭52】廃止【平12】 ●図書館業務用電子計算機(情報処理センター設置機器)を設置【昭62】 ●学術情報ネットワークに接続【昭62】 ●本館ブックディテクションシステム設置【昭63】 ●図書館業務用専用電子計算機の予算化【平6】 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合情報処理センター教育用PC10台を設置(本館)【平11】 ●本館入退館装置設置【平11】 ●自動貸出・返却装置設置【平11】 ●保健学科分室設置【平12】(医療技術短期大学部分室廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重資料保管室設置【平21】 ●医学部分館改修【平21】総面積1,569㎡ ●本館入退館装置更新【平22.3】 ●新「松木文庫」設置【平22.6】 ●本館PCサテライト50台に増設し、3階にリニューアルオープン【平23.2】 ●本館自動貸出返却装置更新【平23.3】 ●本館ラーニングスペース・スクエア設置【平23.10】 ●本館改修【平26】総面積6,111㎡ ●本館ラーニング・commonsを拡充【平26.10】総面積239㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ●「古本募金」回収ボックス設置本館、分館【平29.4】 ●本館自動貸出返却装置更新【令元.8】 ●雑誌棟改修【令3】総面積6,131㎡ ●雑誌棟入退館装置設置【令3】 ●本館入退館装置更新【令4.3】
資料整備	<ul style="list-style-type: none"> ●大型コレクション ●Collection of economic classics.【昭53】 ●Early English Text Society publications.【昭54】 ●東大寺文書【平元】 ●有価証券報告書総覧【平4・7】 ●Research materials for studying history, culture, literature, language and other fields of Georgia, Armenia, Caucasus.【昭62】 ●Gmelin handbook of inorganic and organometallic chemistry.【平6・8】 ●遡及入力開始【平7】 	<ul style="list-style-type: none"> ●太宰治研究文庫開設【平10】 ●リング研究資料コーナー開設【平14】 ●電子ジャーナル導入開始【平14】 ●ノーベル医学・生理学賞関連コレクション(Ueber das Zustandekommen der Diphtherie-Immunität und der Tetanus-Immunität bei thieren)【平14】 ●「学生図書選定について」策定【平16】 ●「学術雑誌及び電子ジャーナル整備基本方針」策定【平17】 ●津軽学コーナー開設、基礎ゼミ指定図書コーナー開設、白神研究資料コーナー開設、ピーターパン・パリ文庫開設【平17】 ●弘前大学学術情報リポジトリ正式公開【平20.5】 ●官立弘前高等学校資料の整理【平20】 ●「津軽領元禄国絵図写」発見【平20.8】 	<ul style="list-style-type: none"> ●文系図書整備(5カ年計画)【平21.3】～【平25.3】 ●太宰治青春の肖像写真を公開【平21.4】 ●「官立弘前高等学校資料目録」刊行【平21.6】 ●遡及入力・現物調査開始【平21.8】 ●太宰治自筆ノート公開【平22.1】 ●弘前大学学生「言語力」大賞コンテスト作品集刊行【平22.3】 ●「加藤謙一文庫」開設、記念碑建立【平22.9】 ●ひろさき地域共同リポジトリを試験公開【平23.2】 ●「文庫・新書コーナー」開設・雑誌コーナー整備【平23.4】 ●「津軽領元禄国絵図写」をデジタル化しHPで公開【平23.11】 ●教職関連資料コーナー開設【平24.1】 ●貴重資料のデジタル化→HP公開 ●「阿仁鉱山関係絵図」【平24.10】 ●「太宰治自筆英語ノート」【平25.12】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域志向コーナー開設【平27.1】 ●トルクメニスタンコーナー開設【平27.5】 ●サンライズ産業(株) 寄贈図書・雑誌コーナー開設【平28.7】 ●地域学ゼミコーナー開設【平28.10】 ●英語多読コーナー開設【平29.10】 ●学生参加型選書ツアー「Book Hunting」開始【平29.6】 ●貴重資料のデジタル化→HP公開 ●「太宰治自筆 修身ノート」【平27.1】 ●「東遊雑記 上・中・下」【平28.1】 ●「妙源寺古文書」【平29.2】 ●「弘前藩家中差紙」【平30.2】 ●「弘前藩家中差紙上・弘前藩家中差紙下」【平31.2】 ●「御郡内惣図」【令2.2】 ●「津軽領西海岸図」【令4.2】 ●「官立弘前高等学校平面図」【令4.2】 ●「官立弘前高等学校資料群」【令5.3】
利用サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●時間外開館(本館 20:00～【昭45】、(医学部分館 20:00)【昭49】、(保健学科分室 18:00)【昭52】) ●土曜開館実施(本館10:00～17:00)【平4】、(医学部分館10:00～17:00)【平15】 ●「青森県立図書館、弘前市立図書館と相互協力に関する申し合わせ」制定【昭59】 ●「弘前市内三大学(弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学) 図書館の相互利用に関する申し合せ」制定【昭63】 ●「岩手大学大学院連合農学研究科学生の図書館利用等の取扱いについて(申し合わせ)」制定【平2】 ●「図書館相互貸借」(NACSIS ILL Library Loan)業務を開始【平4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館ホームページ開設【平8】 ●日曜開館実施(本館10:00～17:00)【平8】、(医学部分館10:00～17:00)【平16】 ●平日開館延長(本館22:00)【平11】 ●学生証と図書館利用証の一体化【平11】 ●一般市民への館外貸出を開始【平12】 ●第1回学術講演会【平16】 ●第1回弘前大学学生「言語力」大賞コンテスト【平17】 ●レファレンスサービスの充実【平20.5】 ●文京・本町キャンパス間図書貸出サービス開始【平20.11】 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館報「豊泉」印刷再開年2回発行【平21.5】 ●「青森県立図書館の連携・協力に関する覚書」の締結【平21.10】 ●留学生ガイダンスを開始【平22.4】 ●データベース講習会開始【平22.5】 ●館内貸出/パソコンの導入【平22.6】 ●平日開館延長(医学部分館22:00)【平26.4】 ●本館リニューアルオープン【平26.10】 ●本館メインカウンターと参考調査カウンターを統合【平26.10】 ●本館書庫への入庫手続きを廃止、全開架式に変更【平26.10】 	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館ラウンジトーク開始【平27.4】 ●POPコンテスト開始【平27.6】 ●ライブラリカフェ開始【平28.6】 ●国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス開始【平28.6】 ●「弘前市内四大学図書館間の相互利用に関する申し合せ」制定【令2.1】 ●本館8:30開館試行開始【令2.4】 ●貸出冊数・更新可能回数拡大【令3.4】 ●雑誌棟リニューアルオープン【令3.5】 ●本館授業期8:30開館開始【令5.4】

組織



蔵書・コレクション・貴重資料

蔵書

(令和5年3月31日現在)

区分	所蔵図書冊数(冊)		所蔵雑誌種類数(種)		電子ジャーナル	令和4年度 受入			
	和書	洋書	和雑誌	洋雑誌		図書(冊)	雑誌(種)		
本館	和書	530,591	和雑誌	15,059	13,390 タイトル	和書	8,440	和雑誌	1,133
	洋書	160,642	洋雑誌	3,974		洋書	561	洋雑誌	61
	計	691,233	計	19,033		計	9,001	計	1,194
医学部分館	和書	84,224	和雑誌	4,195		和書	632	和雑誌	435
	洋書	62,597	洋雑誌	2,425		洋書	111	洋雑誌	62
	計	146,821	計	6,620		計	743	計	497
合計	和書	614,815	和雑誌(全館)	19,254		和書	9,072	和雑誌(全館)	1,568
	洋書	223,239	洋雑誌(全館)	6,399		洋書	672	洋雑誌(全館)	123
	計	838,054	計(全館)	25,653		計	9,744	計(全館)	1,691

所蔵コレクション

1. 加藤謙一文庫

加藤謙一は、本学の前身の一つである青森県師範学校の卒業生で、戦後を代表する多くの著名な漫画家を育て、今日の漫画文化の礎を築きました。この文庫は、手塚治虫など彼が育てた著名な漫画家の関連資料からなる416冊の文庫です。資料の多くは、加藤謙一氏の四男の加藤丈夫氏から寄贈されました。



官立弘前高等学校入学当時の太宰治

2. 太宰治研究文庫

太宰治没後50周年(平成10年)を記念する研究整備事業(教育学部)によって収集された資料を中心に設置されました。

3. ピーターパン・パリ文庫

「ピーターパン」の著者である英国エジンバラ大学の総長であった、ジェームス・マシュー・パリのほとんどすべての著書及び関係資料209点からなる文庫です。

4. 大塚甲山文庫

本県出身で、明治末期の社会主義的詩人、大塚甲山の遺稿、甲山宛書簡、旧蔵書(主として文学書)等からなるもので、大塚甲山の令弟理吉氏が保管していたものを教育学部同窓会を通じて平成7年4月寄贈されたものです。

5. Collection of economic classics. (経済学古典コレクション)

主として、18世紀を中心とした西欧経済学、経済史、財政学上の代表的な17点45冊からなるオリジナルコレクションです。昭和53年度大型コレクション(全国共同利用資料)として整備されました。

6. 松木文庫(医学部分館所蔵)

本学名誉教授松木明知氏から寄贈されたウィリアム・オスラーコレクション(117冊、別刷114点)、医学古典叢書の複製版(44冊)、レオナルド・ダ・ヴィンチコレクション(20冊)及びノーベル医学・生理学賞関連コレクション(194冊、別刷14点)からなる文庫です。

貴重資料(各資料の目録は本館ホームページで公開しています)

1. 津軽領元禄国絵図写

津軽領の国絵図としては、正保の写が県立郷土館に、天保の正本が国立公文書館に所蔵されているが、元禄の国絵図はこれまで発見されていなかった。当時の本州北端の状況を政治、経済両面から表す貴重な資料です。

2. 官立弘前高等学校資料群

旧官立弘前高等学校に関わる、①文部省からの公文書 ②沿革資料 ③教務資料 ④学籍・調書類 ⑤雑誌・会報類 ⑥学校経営資料 ⑦写真類の大きく7項目からなる総点数1,413点余に及び膨大な資料群です。

3. 青森師範学校資料

昭和20年(1945)の文部大臣前田多聞の青森師範学校卒業式告辞から昭和27年の教育学部卒業式在校生祝辞にいたる記念式典、卒業式の祝辞など全20点。

4. 弘前八幡宮古文書

旧津軽藩鎮守である弘前八幡宮の社務日記(御用留記)を主体とした記録類(写本)で、元禄6年(1693年)から明治41年(1908年)に至る196点の資料群です。

5. 太宰治自筆ノート

官立弘前高等学校に入学した太宰が、第1年次の英語と第2年次の修身の講義を、書き留めた自筆の大学ノートです。



太宰治自筆ノート

6. 弘前大学蔵ねぶた絵

第1回の参加から第56回までの、祭りの出陣の際に実際に使用した大型ねぶたと一部小型ねぶた表裏の絵であり、祭り終了後、裏打ちして、本学では初参加以来、「ねぶた流し」は行わず、前述のように表具して毎年保存してきたねぶた絵です。